

最近の調剤医療費（電算処理分）の動向
平成 25 年 3 月

○ 概要

(1) 平成 25 年 3 月の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 6,083 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）0.2%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,539 円（伸び率 0.0%）であった。（→P.1~2）

調剤医療費の内訳は、技術料が 1,550 億円（伸び率 2.5%）、薬剤料が 4,524 億円（伸び率▲0.6%）で、薬剤料のうち、後発医薬品が 487 億円（伸び率 16.1%）であった。（→P.4）

3要素分解 （→P.8~9）	処方せん1枚当たり 薬剤料	処方せん1枚当たり 薬剤種類数	1種類当たり 投薬日数	1種類1日当たり 薬剤料
実数	5,185 円	2.79 種類	21.3 日	87 円
伸び率（%）	▲2.4	▲2.2	+4.6	▲4.5

(2) 薬剤料の約 85%を占める内服薬（3,694 億円（伸び幅（対前年度同期差、以下同様。）▲83 億円）を薬効大分類にみると、総額が最も高かったのは 21 循環器官用薬の 924 億円（伸び幅▲72 億円）で、伸び幅が最も高かったのは 44 アレルギー用薬の 35 億円（総額 425 億円）であった。（→P.10）

年齢区分 （→P.10~13）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	3,694 億円 （▲83 億円）	21 循環器官用薬 （924 億円）	11 中枢神経系用薬 （557 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（435 億円）
0 歳以上 5 歳未満	48.4 億円 （▲5.25 億円）	44 アレルギー用薬 （20.6 億円）	61 抗生物質製剤 （12.8 億円）	22 呼吸器官用薬 （6.5 億円）
5 歳以上 75 歳未満	2,408 億円 （▲53 億円）	21 循環器官用薬 （578 億円）	44 アレルギー用薬 （358 億円）	11 中枢神経系用薬 （357 億円）
75 歳以上	1,237 億円 （▲25 億円）	21 循環器官用薬 （345 億円）	11 中枢神経系用薬 （199 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（140 億円）

(3) 処方せん 1 枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、全国では 8,539 円（伸び率 0.0%）で、最も高かったのは石川県（10, 885 円（伸び率▲0.9%））、最も低かったのは佐賀県（7,226 円（伸び率 1.1%））であった。

また、伸び率が最も高かったのは宮城県（伸び率 3.3%）、最も低かったのは福井県（伸び率▲2.8%）であった。（→P.25~26）

《《後発医薬品の使用状況について》》

【後発医薬品薬剤料】 487 億円（伸び率：16.1%、伸び幅 67 億円）（→P.34）

【後発医薬品割合】（→P.33）

	後発医薬品割合	伸び幅
数量ベース	29.4%	+5.4%
薬剤料ベース	10.8%	+1.6%
（後発品調剤率 ^注 ）	52.7%	+3.6%

注）全処方せん枚数のうち後発医薬品を調剤した処方せん枚数の割合

【後発医薬品 年齢階級別】（→P.34~35）

	全体	最高	最低
後発医薬品薬剤料の伸び率	+16.1%	+42.9% （15 歳以上 20 歳未満）	▲1.7% （0 歳以上 5 歳未満）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.8%	11.7% （65 歳以上 70 歳未満）	6.4% （5 歳以上 10 歳未満）

【後発医薬品（内服薬） 薬効大分類】（→P.36~37）

	全体	最高（薬効大分類）
総額	430 億円	104 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び幅	+63 億円	+26 億円（44 アレルギー用薬）
総額の伸び率	+17.3%	+82.0%（44 アレルギー用薬）

年齢区分 （→P.36~40）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	430 億円 （+63 億円）	21 循環器官用薬 （104 億円）	23 消化器官用薬 （78 億円）	44 アレルギー用薬 （57 億円）
0 歳以上 5 歳未満	3.8 億円 （▲0.11 億円）	22 呼吸器官用薬 （1.25 億円）	61 抗生物質製剤 （0.95 億円）	44 アレルギー用薬 （0.80 億円）
5 歳以上 75 歳未満	282 億円 （+46 億円）	21 循環器官用薬 （68 億円）	44 アレルギー用薬 （52 億円）	23 消化器官用薬 （45 億円）
75 歳以上	145 億円 （+18 億円）	21 循環器官用薬 （36 億円）	23 消化器官用薬 （32 億円）	11 中枢神経系用薬 （17 億円）

【後発医薬品 都道府県別】（→P.50~54）

	全国	最高	最低
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料	683 円	989 円（岩手県）	523 円（徳島県）
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料の伸び率	+15.9%	+22.0%（神奈川県）	+5.8%（富山県）
後発医薬品割合（数量ベース）	29.4%	42.4%（沖縄県）	24.5%（徳島県）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.8%	14.2%（沖縄県）	8.0%（徳島県）
後発医薬品調剤率	52.7%	67.3%（沖縄県）	45.8%（山梨県）

〔利用上の留意点〕

(1) 分析対象レセプトの特徴

- 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）において、レセプト電算処理システムで処理された調剤報酬明細書のデータを分析対象としている。
- 平成 25 年 3 月現在の電算処理割合は、処方せん枚数ベース、医療費ベースともに約 99%である。

(2) 表章期間

- 平成 16 年 10 月調剤分からデータは収集しているが、伸び率の分析を主眼としているため、統計表上の表章期間は平成 17 年 10 月以降とした。